

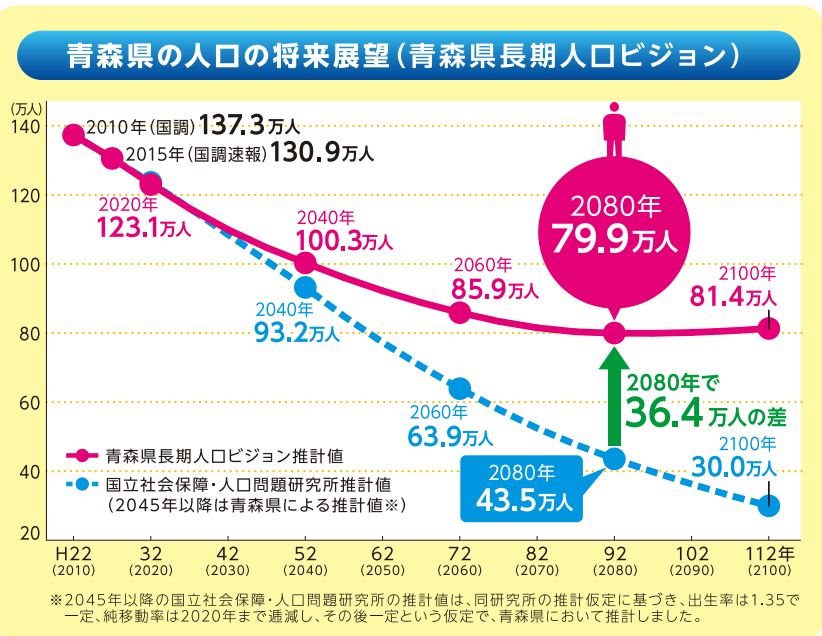
人口減少社会の克服へ

女性や移住者、そして地元で暮らす人々。誰もが青森県の良さに気づき、働きやすく、暮らしやすい青森県にすること。それが、人口減少克服への第一歩。

青森県は、人口減少、少子化・高齢化が急速に進んでいます。人口減少の原因は、進学・就職などで県外へ若者が転出する「社会減」と、出生数の減少、男女の平均寿命の短さなどによる「自然減」によるものです。人口減少は、集落機能の低下、買い物や公共交通など生活上の問題、耕作放棄地や空き家の増加などに加え、地域文化の伝承など、多方面に影響が及びます。

県では、平成27年8月に「青森県長期人口ビジョン」を策定し、人口減少の克服に向けたさまざまな取組を総動員することにより、県全体の総人口は2080年（平成92年）以降、約80万人で安定するという将来展望を示しています。

また、これを実現していくため、「まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略」を策定し、「社会減対策」と「自然減対策」の両面から、人口減少の克服に向けた取組を強化しています。「社会減対策」では、高品質の農林水産物の生産など本県の強みを生かした魅力ある仕事づくり、女性・若者の県内定着と首都圏などからの移住、転入の促進など、「自然減対策」では、結婚・妊娠・出産・子育てに対する支援や健康づくりの推進などに重点的に取り組んでいます。



まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略 (青森県の人口減少対策)

社会減対策

政策分野① 強みをとことん、魅力あふれるしごとづくり

政策分野② 人財きらめく、住んでよしの青森県

- 首都圏などからの移住促進や若者の定着促進、魅力的な生活環境や誰もが活躍できる社会環境づくりなどを進めます。
- 女子学生等や子育て女性に対する就活・キャリア形成支援
- 移住・UIターン就職の促進
- 教育機関、生徒・保護者・学生等と企業の相互理解促進 など

自然減対策

政策分野③ 地域でかなえる、子ども・未来の希望

政策分野④ 課題をチャンスに、めざせ健康長寿県

女性が仕事と育児を楽しみ、自分らしく暮らせる環境づくり

青森で働き、出産・育児をしながら、キャリアを磨くことができる環境づくりとは？ 10代〜30代のそれぞれのライフステージにある3人の女性たちに、働きやすい環境について語っていただきました。

自然、食、人のつながり 都会にはない魅力がある

野宮真美 私の出身は、神奈川県ですが、両親ともに青森県出身ということもあり、私が中学校入学の時、家族で五所川原市に移り住みました。現在は、キャリア形成・人材育成などを通じて就職サポートを行う会社に勤務し、働きながら、中2と小2の子どもたちを育てています。

成田麻衣 私は、弘前市出身で、OA機器、医療機器などに使用する微細な金属製品の切削作業やめっき加工を行う会社で営業をしています。国内外の展示会や商談会に出かけたり、最近では製品開発にも関わっています。

鈴木優里 私は、青森大学社会学部に在学しています。卒業後は地元・十和田市の職員として、若い人が住みたいと思えるような街づくりに関わるのが夢です。

— 県内就職を希望した理由は？

野宮 都会の人混みが苦手、満員電車で揺られて通勤する自分が想像できなかったから(笑)。それに、子どもが生まれたら自

